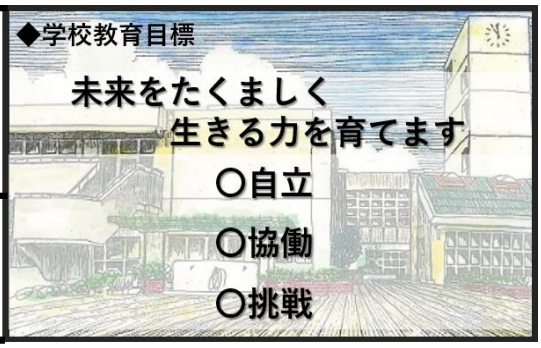
小山台中学校だより

R5-08号　令和５年　12月1日(金)発行

◆発　行　横浜市立小山台中学校　〈住所〉横浜市栄区小山台1-14-1
◆校　長　白田　淳子　〈電話〉８９２－７５１２
◆副校長　桝渕　祥子　〈FAX〉８９３－４６３８
◆教職員一同

◆学校教育目標

未来をたくましく
生きる力を育てます
〇自立
〇協働
〇挑戦



赤い羽根共同募金参加のご報告

福祉委員会

赤い羽根共同募金ポスター

福祉委員会では、11月20日から24日にかけて、本校正門前で「赤い羽根共同募金」への呼びかけを行いました。

本年度は、委員会活動時に外部の方による「赤い羽根共同募金」の活動内容や、その使われ方などのご説明をしていただく機会はありませんでしたが、どうすれば学校全体に「赤い羽根共同募金」について知ってもらい、参加してもらえるかについて、福祉委員全員で議論し、アンケートやポスター掲示、昼の放送などの広報活動を行ってきました。

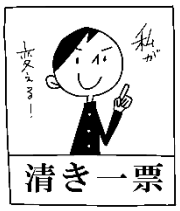
募金当日は天候にも恵まれ、皆様のご協力により、4日間で合計 **12,252 円**もの募金が集まりました。こちらは、栄区社会福祉協議会に提出してまいりました。

今回の募金活動を通して学んだことをいかして、他にも自分たちにどのような活動ができるか生徒自身で模索しながら活動できる委員会を作っていってほしいと思います。

「赤い羽根共同募金」へのご協力、誠にありがとうございました。

選挙管理委員会

生徒会本部役員選挙について



12月12日(火)に令和５年度生徒会本部役員選挙が行われます。この選挙の後、昨年の12月から生徒会活動の中心となって学校を支えてきた生徒会本部の役員は任期を終え、新しい生徒会本部へと移りかわります。

これまで、あいさつ運動や横浜こども会議、意見箱の設置など様々な活動を通して小山台中学校をよりよくしようと力を尽くしてきた現本部役員の思いを引き継ぎ、小山台中学校の生徒会活動をますます活発にしていくため８人の立候補者が揃いました。

また、公平で公正な選挙にするために、選挙管理委員会では選挙に向けての準備を進めています。全校生徒一人ひとりが一票の重みを感じられる選挙にしたいと思います。

12月のおもな予定

4日(月)～7日(木)	3年進路面談、1･2年三者面談
12日(火)	生徒会役員選挙立会演説会、投票
21日(木)	大掃除
22日(金)	全校集会
23日(土)～1月8日(月)	冬休み

コヤ中読書週間を終えて

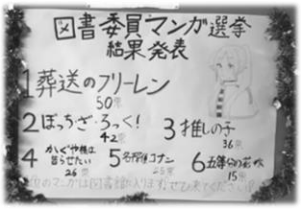
図書委員会

今年度のコヤ中読書週間（10 月 16 日～11 月 9 日）では、しおりの配布と図書委員が企画したイベントを実施しました。しおりは本の帯やカバー、チラシを利用して作成したものと、リーディングトラッカー（読書定規）という文章を読む補助をするものを用意したところ、人気の本やキャラのものはあっという間になくなり、リーディングトラッカーも予想以上に多くの人がもらってくれていて、改めてコヤ中生の読書への意欲の高さを感じました。

また図書委員会で企画した「**前期貸出 TOP３の展示**」「**本クイズ**」「**マンガ選挙**」も好評で、多くの生徒がイベントに参加してくれました。

「**前期貸出 TOP３の展示**」は図書委員がかわいいPOPを作成して、図書館前のショーウィンドウに展示しました。本は人気のため返却されてもすぐ貸出され、POPと一緒に展示することがあまりできなかったことが残念なほどでした。

「**本クイズ**」は、初級から最上級までの問題を用意し、正解者がステップアップしていく形式で、最上級までクリアした人には貸出追加券と特製缶バッチをプレゼントしました。連日昼休みに問題を求める生徒が来て図書館がにぎわいました。クイズ担当の委員が毎日図書館に来て対応してくれる姿をみて責任感の高さに感心しました。



「**マンガ選挙**」では、図書館に入れてほしいマンガを候補本として“立候補”させ、全校生徒に投票をお願いしました。総投票数は 195 票で 1 位は 50 票『葬送のフリーレン』（山田鐘人／原作・アベツカサ／マンガ 小学館）でした。この本は近く図書館に入る予定です。

はじめての取り組みでしたが、図書委員は忙しい中、昼休みや放課後に集まって掲示物の作成や景品の準備などを行い、イベントを盛り上げようと頑張ってくれました。

これからも学校図書館へ足を運んで本に親しんでもらえるような取組を実施していきたいと思います。

図書館の本棚から

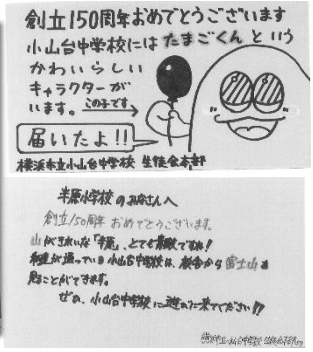
学校司書

来年の大河ドラマは紫式部が主人公。言わずと知れた源氏物語の作者です。

源氏物語は千年もの間人々に愛され、親しまれてきた「最古の長編物語」と言われていますが、すべてを読んだことがある人は少ないかもしれません。その作者紫式部についても「源氏物語を書いた人」ということ以外知る人は少ないと思います。

今回紹介する本は『**ビジュアルでつかむ！古典文学の作家たち　紫式部と源氏物語**』（川村裕子／監修 ほるぷ出版）。

四十ページと薄いですが、オールカラーで絵や写真をふんだんに使うことで視覚に訴え、わかりやすく紫式部と源氏物語についてまとめられています。国宝の絵巻物の写真なども掲載されていて当時の貴族の生活をうかがい知ることができます。眺めるだけでも楽しくためになる一冊です。紫式部を知る足掛かりにいかがですか？

風船が運んでくれた贈り物

11月21日のこと。本校のグラウンドに、紫の割れた風船と小さな紙が落ちているのを見つけました。そこには、「やまがきれい」という可愛らしい文字が書かれていました。なんと、本校から 40km ほど離れたところにある、愛川町立半原小学校からやってきたものだったのです。今年創立 150 周年を迎えた半原小学校は、記念行事として 11 月 20 日にバルーンリリースを行ったということでした。子どもたちが地域の良さについて学んだことを、メッセージとして風船に付けて送ったそうです。半原小学校には、生徒会本部の生徒から“お返事”を送りました。想定外の贈り物に心が温まる、そんな出来事でした。